

## <MDPRO ミニコラム> MDPRO 実施「医療機器関連産業 意識調査」から

次世代型産業と言われている医療機器産業の更なる発展のためにはオールジャパンでの取組みが重要と考えられています。そのような状況に鑑み、MDPRO では比較的売上規模が大きい企業 136 社(回答数は 50 社)を対象に、匿名によるアンケート調査「医療機器関連産業 意識調査」(以下、「本調査」という。)を実施致しました。

本調査では医療機器関連企業の事業戦略担当者に対して「将来動向」、「医療機器の開発」、「事業計画」、「人材」、「政策」、「産業団体・行政アカデミアへの意見」の 6 項目を調査項目として設定致しました。なお、本調査は匿名調査ですが医療機器産業の抱える課題を明確化するために回答企業の売上規模と内資/外資の属性については回答いただきました。

今回は「医療機器の開発」の質問項目において売上規模別で回答傾向に大きな違いのあった「医療機器開発で難しい、苦労している点」について取り上げます。

「医療機器開発で難しい、苦労している点」を選択形式で回答を求めたところ、「臨床評価・治験」と「ビジネスモデル開発」の回答選択傾向に売上規模別の違いが認められました(図 1 参照)。

「臨床評価・治験」においては売上規模が小さい企業ほど課題として認識しています。これは規制対応への経験、体制の整備が売上規模の小さい企業ほど未整備であることが考えられます。一方、「ビジネスモデル開発」では売上規模の大きい企業ほど課題として認識しています。売上規模の大きい企業においては製品単体の性能競争から、ビジネスモデルを含めた競争を指向していることが伺えます。

他の質問項目においても売上規模、内資/外資といったセグメントごとに課題認識の傾向に違いが認められました。医療機器産業界が抱える課題解決の検討にあたっては対象セグメントを明確にし、議論をする必要があると考えます。

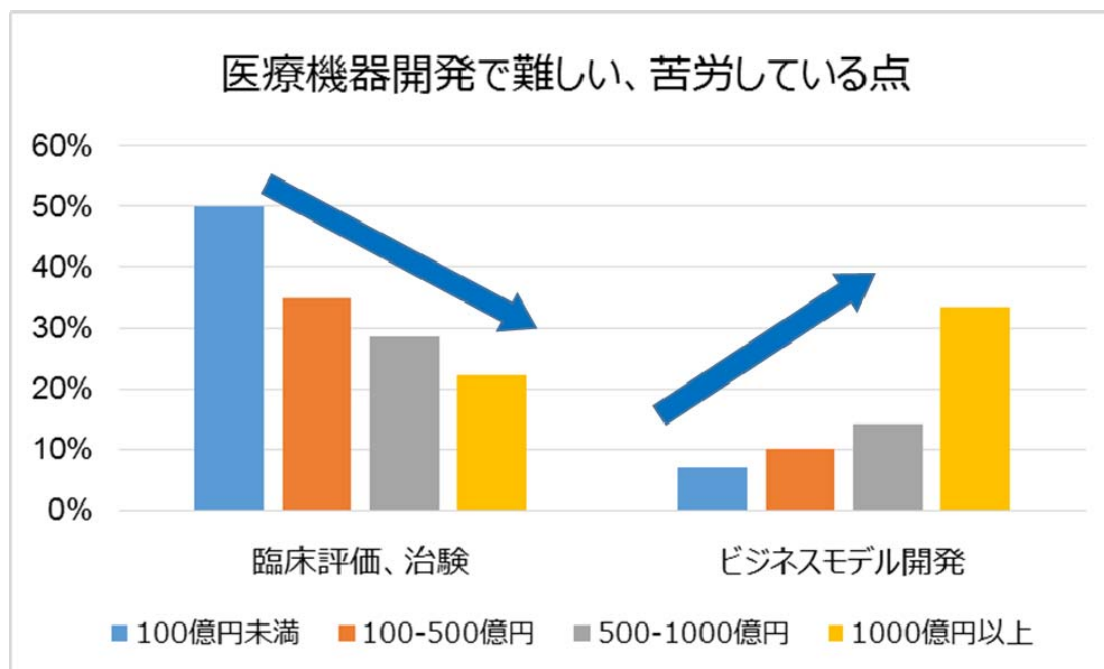


図 1 医療機器開発で難しい点、苦労している点  
(出所：「医療機器関連産業 意識調査」より MDPRO 作成)

※「医療機器関連産業 意識調査」の結果は、近日公開予定の MDPRO のホームページに掲載致します。